



# 第26期 定時株主総会

May 24, 2026

いちご株式会社 (2337)  
Ichigo Inc.



# Make More Sustainable

## サステナブルインフラの「いちご」

# Make More Sustainable

私たちは  
人々の豊かな暮らしを支える  
サステナブルインフラ企業です



サステナブルインフラ

いちご

(プライム 2337)



いちごウエイトリフティング部  
三宅宏実コーチ・村上英士朗選手(タンク村上)

# 報告事項

(招集ご通知の28頁から73頁)

# 当事業年度の事業の状況

(招集ご通知の28頁から42頁)

# 2026年2月期 通期連結業績

- 純利益および事業利益は過去最高益を更新
- ROE 14.6%、キャッシュROE 16.2%

	2025年2月期 通期業績 (前期実績)	2026年2月期 通期業績 (当期実績)	増減率	2026年2月期 通期予想 (当期)	(単位:百万円)
営業利益	16,309	20,449	+25.4%	19,500	
経常利益	13,764	17,095	+24.2%	14,800	
特別損益(心築およびホテル資産売却損益)	8,554	7,597	-11.2%	—	
純利益	15,187	16,628	+9.5%	16,000	
キャッシュ純利益	19,391	18,442	-4.9%	20,500	
1株あたり純利益(EPS)	34.86円	40.11円	+15.1%	38.13円	
1株あたりキャッシュ純利益(キャッシュEPS)	44.51円	44.49円	-0.0%	48.85円	
1株あたり配当金(DPS)	10.50円	11.50円	+9.5%	11.50円	
事業利益(※)(本業利益の実態値)	24,864	28,047	+12.8%	28,400	
自己資本利益率(ROE)	14.1%	14.6%	—	14.0%	
キャッシュROE	18.0%	16.2%	—	17.9%	
株主資本配当率(DOE)	4.1%	4.1%	—	—	

(※)事業利益：

当社のコア事業「心築事業」および「ホテル事業」において心築を施した資産は、販売用不動産や固定資産を問わず、すべて「心築資産」であり、その売却損益は本業によるものであることから、営業利益に加味し、営業活動本来の利益を可視化

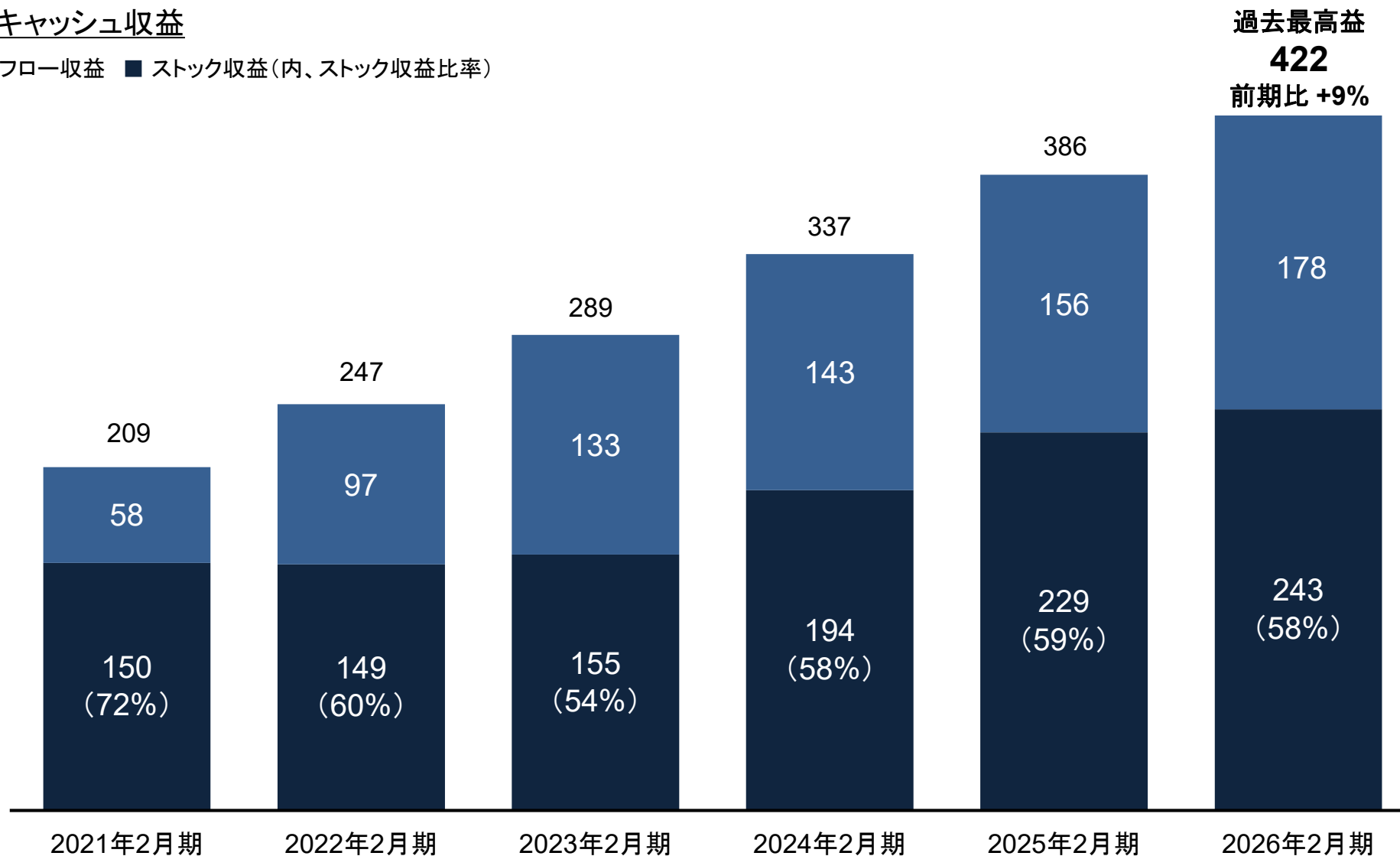
# ストック収益とフロー収益の融合による強力なキャッシュ創出力

(単位:億円)

## キャッシュ収益 過去最高益更新(前期比 +9%)

### ■ キャッシュ収益

■ フロー収益 ■ ストック収益(内、ストック収益比率)



過去最高益  
**422**  
前期比 +9%

# 配当：前期比 +10%(11.5円)

持続性・安定性の高い収益基盤の構築進展を背景に、DOE目標を引き上げ

- ✓ 当期配当は前期比+10%となる11.5円で定時株主総会に付議
- ✓ 2027年2月期はDOE目標引き上げに伴い、前期比+35%の15.5円に大幅増配予想

## ■ いちごの配当政策

累進的配当政策

+

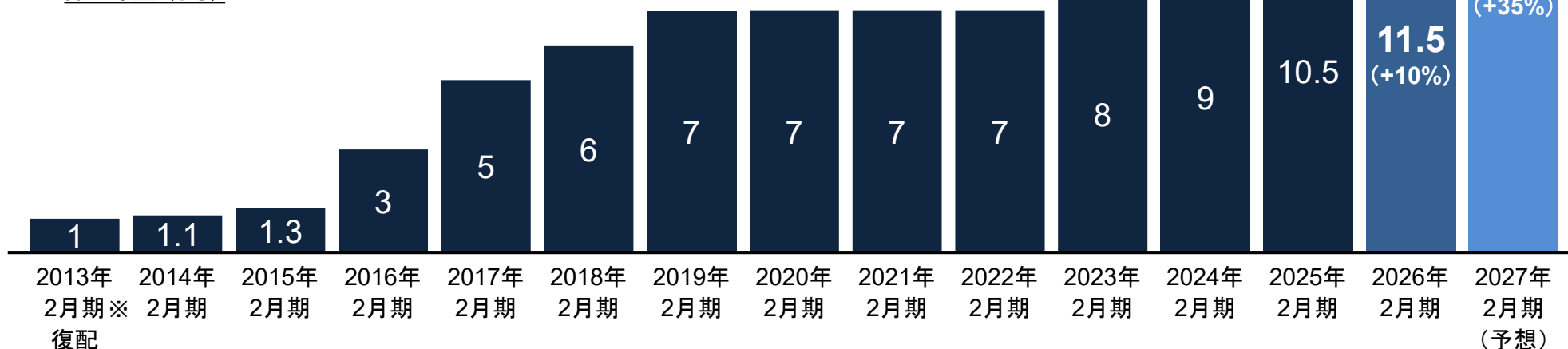
DOE目標 5%以上

当社の盤石な安定収益基盤により  
原則 維持か増配(減配しない)

期ごとの利益変動に左右されない  
長期安定的な配当成長

5期連続  
増配予想

## ■ 配当金(円)



※ 株式200分割を考慮

© Ichigo Inc. All rights reserved.

# 機動的な自社株買い：98億円取得、発行済み株式数の7%を消却

継続的な自己株式取得と消却により、EPSを着実に向上

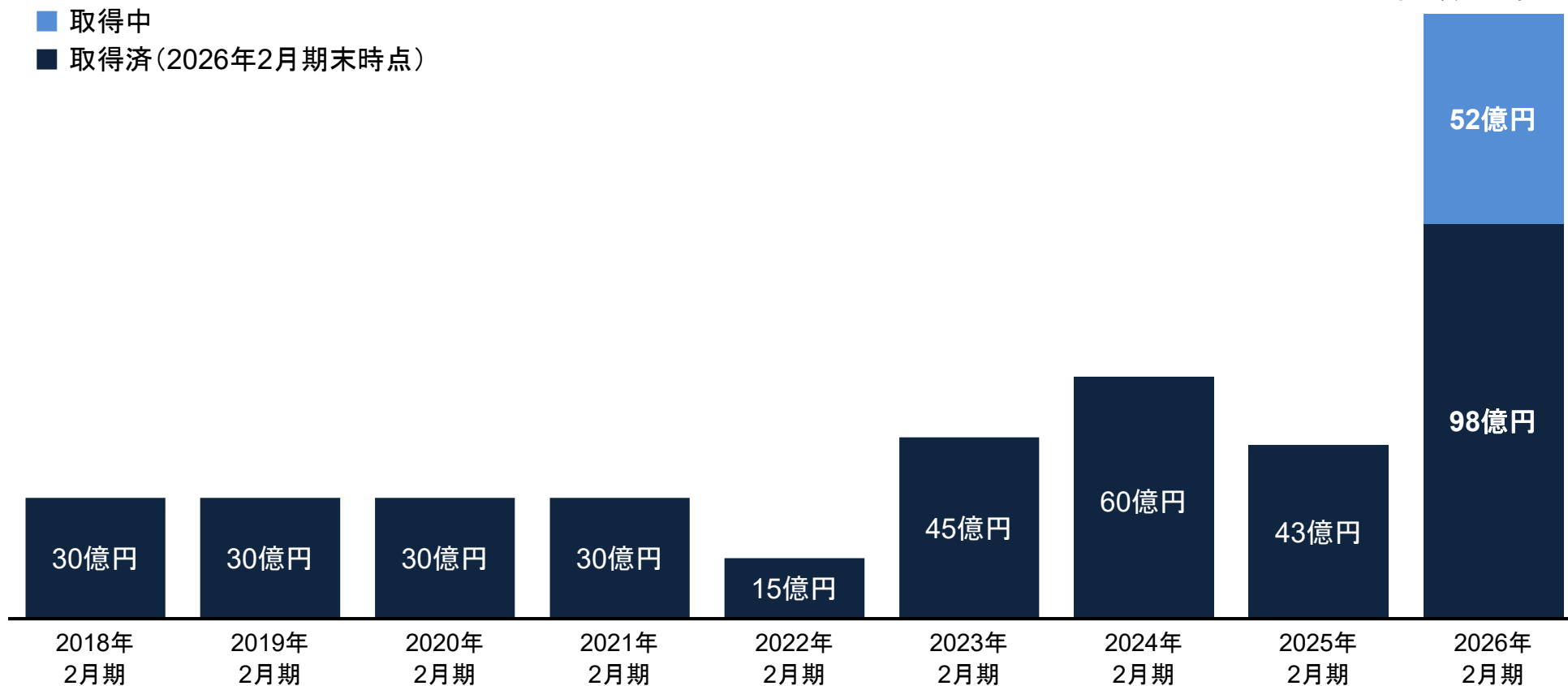
- ✓ 当期は総額150億円の自己株式取得を開始（うち、98億円取得済み）  
併せて3,000万株 / 発行済み株式数の7%の消却を実施
- ✓ 自己株式取得の累計額（取得中含む）は433億円

## ■ 自社株買い（取得開始ベース）

■ 取得中


■ 取得済（2026年2月期末時点）

総額150億円



# Jリーグトップパートナー契約期間満了

- 2019年より約7年間、トップパートナーとして知見と実績を蓄積
- 今後、「スポーツ×不動産」による社会価値の創造をより実践的に推進
- 契約終了に伴い、「いちごJリーグ株主・投資主優待」は終了
  - ✓ 2026年6月から12月まで、抽選式の「いちごTHANKS!マンスリープレゼント」を実施

当初の目的	成果	今後の展開 社会価値創造の実装フェーズへ
<ul style="list-style-type: none"><li>・ スタジアムの老朽化や運営課題に対する不動産技術、ノウハウの提供</li><li>・ スポーツを起点とした地域活性化への貢献</li><li>・ いちごスポーツ部との連携強化によるスポーツ振興</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ クラブや自治体とのネットワーク構築 → クラブからのコンサルティング受託等</li><li>・ テゲバジャーロ宮崎取得、競技力向上 → 経営権獲得から2年でJ2昇格</li><li>・ PFI代表企業として 島根スサノオマジックホームアリーナのBリーグPREMIER基準への改修受注</li><li>・ いちごブランド認知向上、取引先拡大</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「スポーツ×不動産」による地域価値創出</li><li>・ テゲバジャーロ宮崎の成長と地域活性化</li><li>・ スポーツ・文化施設の社会負担の軽減、持続可能性向上</li></ul> <div data-bbox="1375 1078 2190 1351"></div>

# 対処すべき課題

(招集ご通知の44頁から46頁)

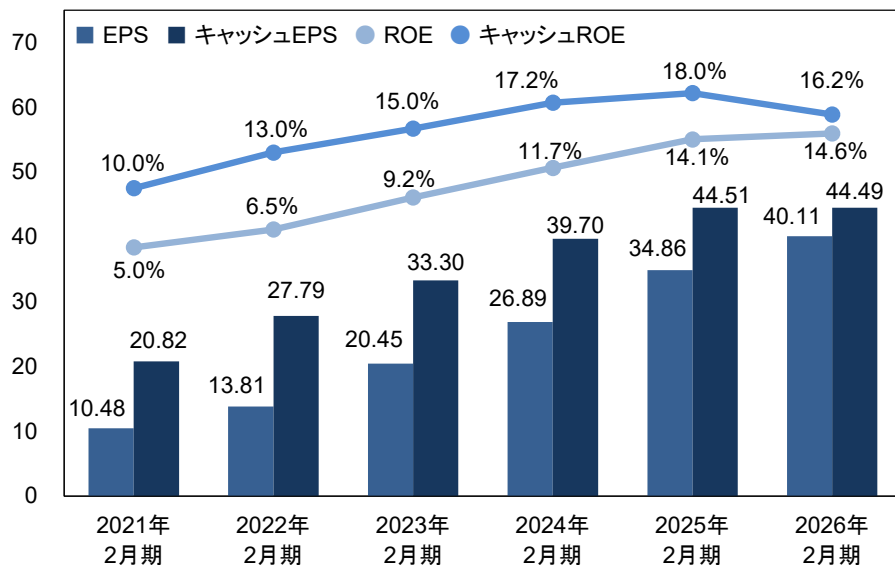
# 長期VISION「いちご2030」達成に向けた経営目標(KPI)

## 長期VISION「いちご2030」の実現に向けたコミットメントのさらなる強化

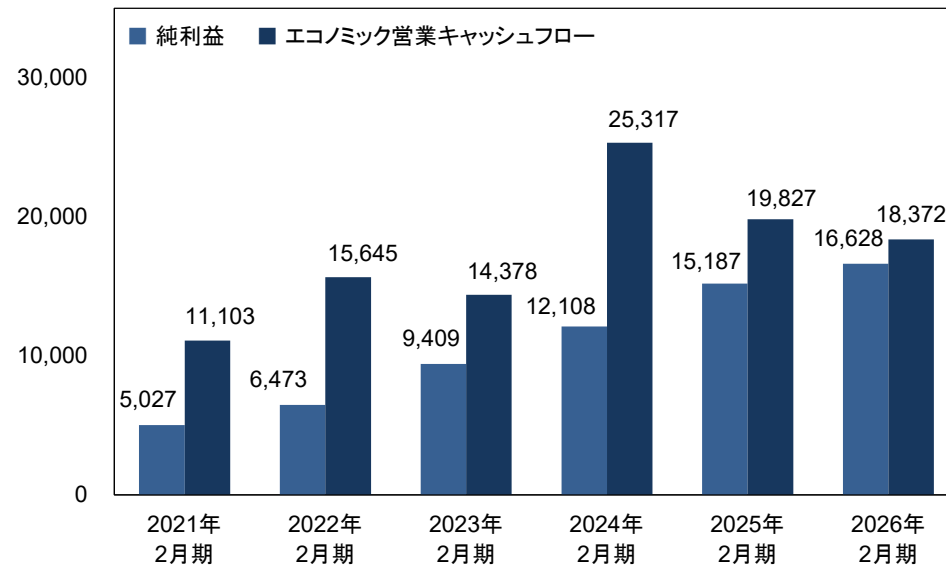
株主価値の最大化	徹底的な キャッシュ・フロー経営	<ul style="list-style-type: none"><li>・ キャッシュROE : 18%以上</li><li>・ ROE : 15%以上</li><li>・ エコミック営業キャッシュフローの 当期純利益超過と維持</li></ul>
	持続性と安定性の高い 新たな収益基盤の構築	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ストック収益比率 : 60%以上</li><li>・ ストック収益固定費カバー率 : 200%以上</li></ul>
	株主還元策	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「安心安定配当」の累進的配当政策</li><li>・ DOE(株主資本配当率) : 4%以上→<b>5%以上</b></li><li>・ 機動的な自社株買い</li></ul>
	サステナブルな社会に向けた 環境課題解決	<ul style="list-style-type: none"><li>・ いちごのクライメート・ポジティブの維持</li><li>・ RE100 達成と維持</li><li>・ CDPリーダーシップの維持</li></ul>

# 経営目標(KPI)：資本生産性・キャッシュ創出力・安定収益

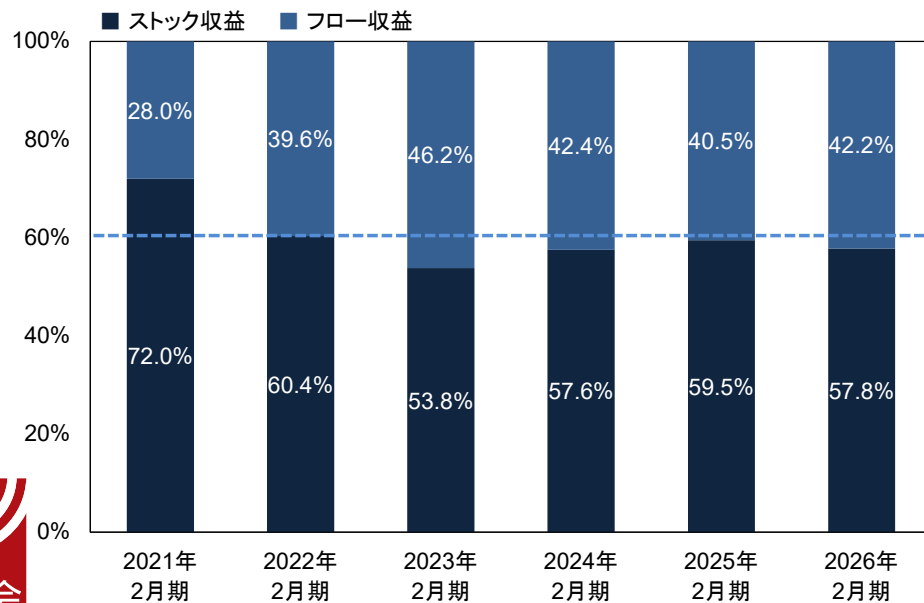
■ ROE15%以上、キャッシュROE18%以上 (単位：円)



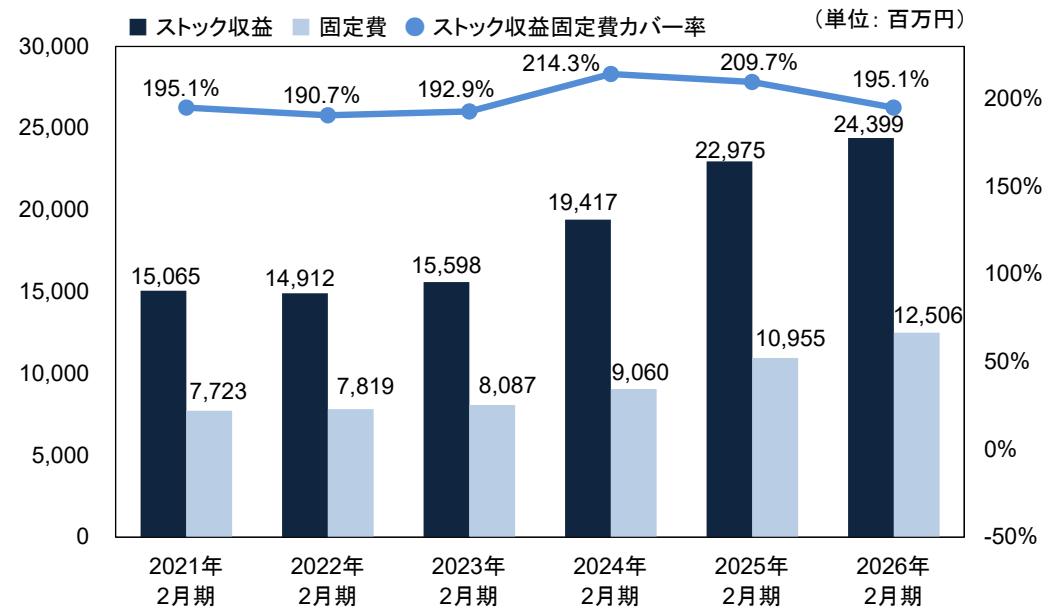
■ エコノミック営業キャッシュフロー>純利益 (単位：百万円)



■ ストック収益率 60%以上



■ ストック収益固定費カバー率 200%以上



# 経営目標(KPI)：いちごのクライメート・ポジティブの維持

クリーンエネルギー事業の成長(CO2削減量の増加)と  
再生可能エネルギー電力への切り替え・オフセット(CO2排出量の削減)を推進

## ■ クリーンエネルギー事業によるCO2削減量とグループ排出量比較

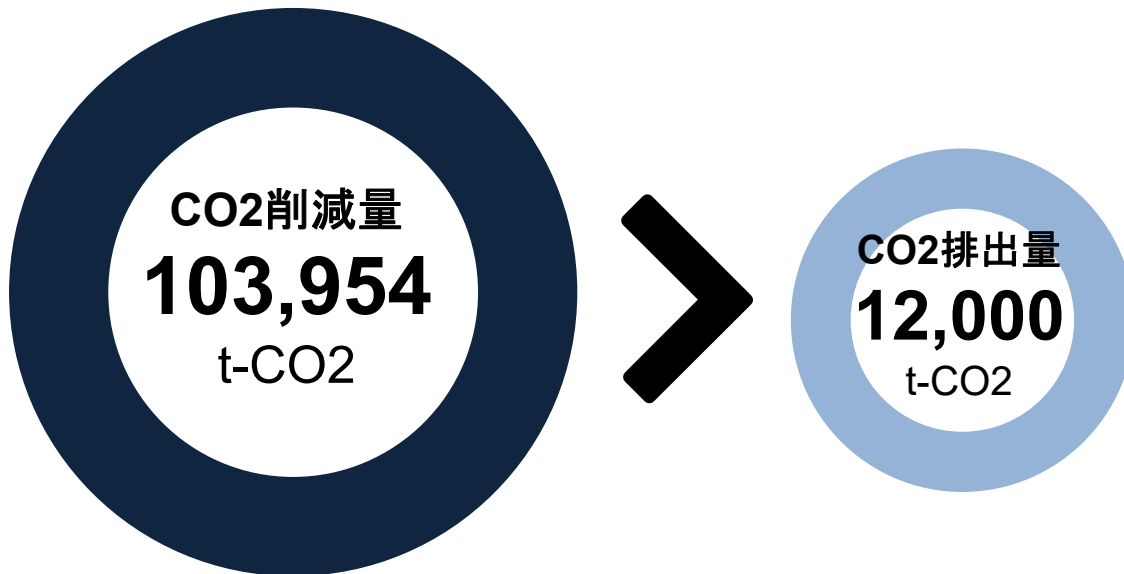
- いちごが保有・運用する発電所によるCO2削減量
- いちごグループのScope1+2排出量(予測値)

## ■ CO2削減・排出量推移

(単位:t-CO2)

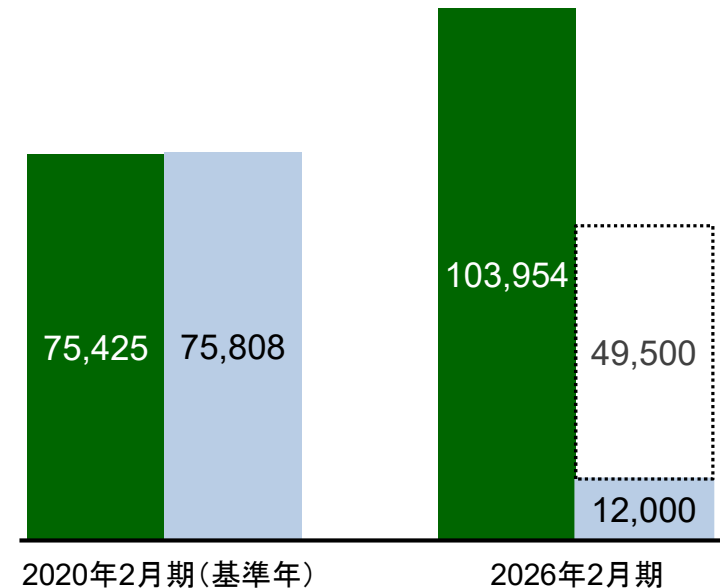
- クリーンエネルギー事業によるCO2削減量(※1)
- グループ全体のCO2排出量(Scope 1+2 / 予測値)
- 施策(※2)によるCO2削減量(予測値)

CO2削減量は排出量の約9倍



CO2削減量は +38%

CO2排出量は -84% (基準年比)



(※1) 環境省が公表する毎年3月1日時点の各電力会社の調整後排出係数を、それぞれの事業期間ごとの年間固定値として算出(発電量×排出係数)

(※2) 省エネ化、再生可能エネルギーへの切り替え、当社発電所由来のトラッキング付非化石証書取得(非化石電源由来の電気が持つ環境価値が証書化され、RE100対応が可能となるよう発電所所在地等の属性情報(トラッキング情報)が付与されたもの)

© Ichigo Inc. All rights reserved.

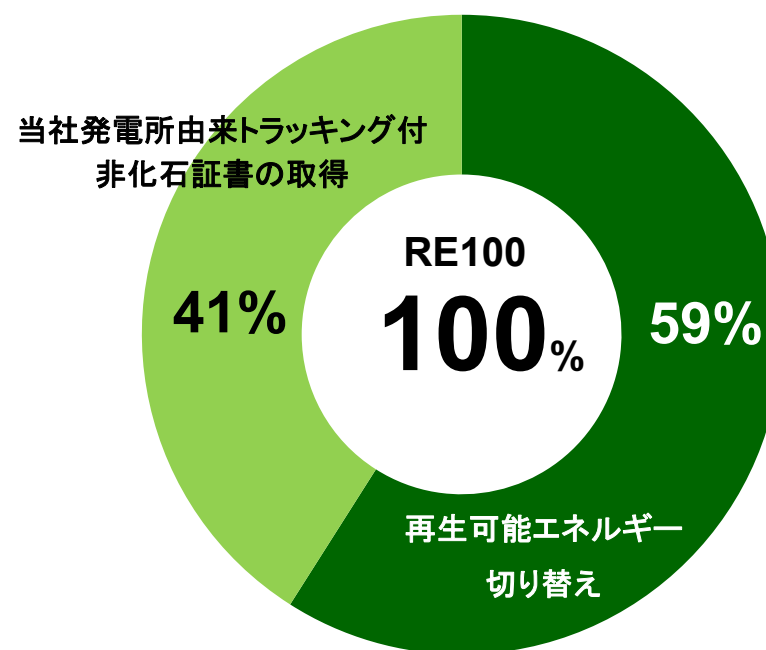
# 経営目標(KPI) : RE100の達成と維持

## RE100認定取得

- ✓ グループ全体の事業活動で消費する電力の100%再生可能エネルギー化を2024年8月に達成
- ✓ CDPによる1年間の審査を経て、2026年4月にRE100認定を取得



■ RE100達成率 (2026年2月期末時点)



# 経営目標(KPI) : CDPリーダーシップの維持

- 気候変動(3年連続)、ウォーター(2年連続)で最高評価「Aリスト」企業獲得
  - ✓ ダブル「Aリスト」企業 : 146社(情報開示を行った企業の0.7%)
    - 「Aリスト」企業数 : 気候変動 745社、ウォーター 253社
- 環境課題解決KPI(外部評価の獲得)を達成
  - ✓ KPI : 気候変動「Aリスト」企業、ウォーター「Aリスト」企業維持



CDP :

世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営する非営利団体  
投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するための  
グローバルな情報開示システムを運営

企業評価は多岐にわたる質問で構成される質問書をベースに、  
A~D<sup>-</sup>の8段階でランキング

2025年、CDPのプラットフォームを通じて情報開示を行った企業は  
全世界22,100社以上、スコアを付与された企業は約20,000社

# 監査結果

招集ご通知の69頁から73頁をご覧ください。

# 決議事項

招集ご通知の13頁から27頁をご覧ください。

# 第1号議案 剰余金の処分の件(招集ご通知 13頁)

剰余金の処分につきましては、以下のとおりといたしたいと存じます。

## ■ 期末配当に関する事項

### (1) 配当財産の種類

金銭といたします

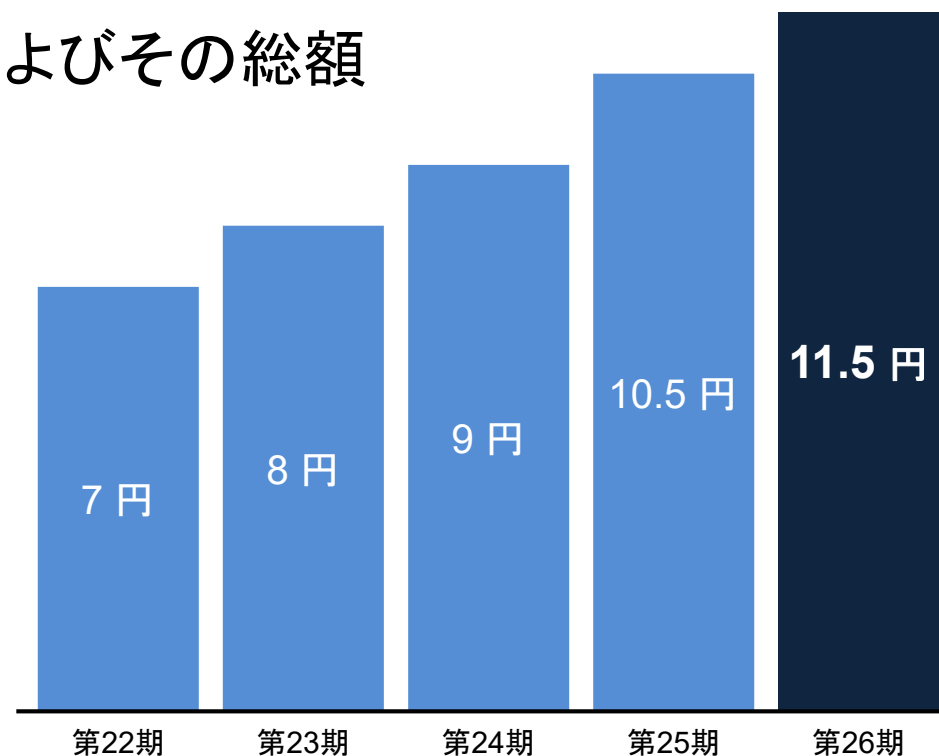
### (2) 配当財産の割当てに関する事項およびその総額

当社普通株式1株につき 金11.5円

総額は4,623,573,700円

### (3) 剰余金の配当が効力を生じる日

2026年5月25日



## 第2号議案 取締役9名選任の件（招集ご通知 14頁から27頁）

取締役候補者は次のとおりであります。

候補者指名			
1	スコット キャロン		
2	長谷川 拓磨		
3	石原 実		
4	村井 恵理		
5	藤田 哲也	社外取締役	再任
6	中井戸 信英	社外取締役	再任
7	宇田 左近	社外取締役	再任
8	田中 精一	社外取締役	再任
9	柳井 直美	社外取締役	新任

社外取締役候補者5名は  
いずれも東京証券取引所の定めに基づく  
独立役員となり、  
コーポレートガバナンス・コードにおける  
独立社外取締役であります。

# 議案の採決

## 第1号議案

### 「剰余金の処分の件」

# 議案の採決

## 第2号議案

### 「取締役9名選任の件」







- 本資料は当社の第26期 定時株主総会の参考資料として作成されたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘する目的で提供されるものではありません。本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものでなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに 依拠したことに基づく損害、損失または結果についても何ら補償するものではありません。
- 本資料には、当社の見通し、目標、計画、戦略などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、資料作成時点における当社の判断および仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または展開と大きく異なる可能性があります。
- なお、本資料に記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。



**Make More Sustainable**  
サステナブルインフラの「いちご」

### 【お問合せ】

いちご株式会社(東証プライム市場 2337)

IR推進部

E-mail : [ir@ichigo.gr.jp](mailto:ir@ichigo.gr.jp)

[www.ichigo.gr.jp](http://www.ichigo.gr.jp)

